



図書館だより



2023年5月号 NO. 402
北茨城市立図書館
茨城県北茨城市磯原町本町 2-5-16

背ぼね

書架整理中、何気なく背表紙を眺めていて、ふと、「背ぼね」という言葉が目をついた。随筆の書棚だったから、肉体的な意味ではなく、精神的な意味での「背ぼね」であろうと思った。「背骨」ではなく「背ぼね」とあるのも、どこか業の匂いがして、心がしんと静まった。

そういえば、その背ぼねを鍛えるような心もちで、背伸びして、司馬遼太郎とか塩野七生とか、頑張ってた頃があったなあ、と懐かしく思い出す。今は全くそうは思わないけれど、自分のこの精神の軟弱さが、うまくいかないことに対するすべての原因のように考えていた時期があって、それはそれで必死だったのだが、まあ、大人になったものだ。

さて、当たり前のように、昔も今も、自分の背ぼねや背中を、自身で見ることはできない。他者の背中によく見える。同時に、自分の背中には常に見られているし、もしかしたら、背ぼねも、見抜かれているかもしれない。

だからかなあ。人の背中表情に、目を凝らして、語られない複雑さに、より信を置くようになったのは。気が抜けないね。おもしろいね。

By ミカゲ



《 図書館カレンダー 》

■ = 休館日です。



★ 開館時間 : 午前9時30分~午後6時 ★
★ 2023年5月 ★ ★ 6月 ★

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

★ YABOOKご紹介 ★



『 どうしてわたしはあの子じゃないの 』

一般書 913.6 テラ 寺地 はるな／著 株式会社双葉社

中学の同級生、男女3人の物語。閉鎖的な村から逃げ出し小説家になりたい天。東京から父親の故郷に帰ってきたこの村が好きだという転校生ミナ。イケメンでモテる男の子藤生。

三人それぞれの想い。未来への希望とどうにもならない現実とのジレンマに苦しむ思春期の感情。「どうしてわたしはあの子じゃないの」という嫉妬。村の大人への苛立ち、そして後悔・・・

ある出来事からぎくしゃくしてしまった中学卒業間際に、3人それぞれに宛てた手紙を書くことに。それから3人で会うこともなく30歳になったある日、ミナから何十年振りに復活するお祭り「浮立」にあわせて故郷の村で中学時代に書いた手紙を読もうと連絡がくる。

中学の頃、どんな想いを手紙に書いたのか、30歳になった今、どのような想いで読むのか、3人の心の変化は・・・

少し苦しくて、でも最後には清々しい、学生時代の友人はいいものだなあと思わせてくれる作品です。

by ケドガー

図書館員のひと一言

新年度が始まって一ヶ月が過ぎました。新一年生のみなさん、学校生活はいかがですか。楽しく過ごせていますか。今日は、小学一年生のみなさんと、保護者の方にお薦めの本をご紹介します。 by みーやん

☆「いちねんせいえほん はじめての『よのなかルールブック』」☆

児童書 376 イ 日本図書センター

「いちねんせい」って、どんなだろう？ あたらしい友だち、はじめてのじゅぎょう、きゅう食、やすみじかん。ワクワク・ドキドキがいっぱい！

さあ、「いちねんせいえほん」の始まりです。楽しい学校生活が送れますように…。

☆「小学生のおやくそく 小学校が100倍楽しくなる」☆

児童書 376 シ KADOKAWA

小学校って、どんなところ？ 勉強するところ？ あそぶところ？ 楽しいところ？ どんな人たちがいるの？ 何をもっていくの？ どんなきまりがあるの？

そんな質問に答えてくれる本です。

☆「だいじょうぶ！ いちねんせい」☆

児童書 Eダイ 大木 あきこ ぶん・え 新日本出版社

一年生になった ゆなちゃんは、しょうこうぐちで しょんぼり。お友だちでできなかったら、どうしよう。先生が こわかったらどうしよう。不安でいっぱいです。

でも、大丈夫！ みんなが応援しています。きっと、笑顔になれるはず！



◇「かえでちゃんとひみつのノート」◇

児童書 913オC 大久保 雨咲／作 植田 真／絵 小峰書店

かえでちゃんのノートのなかにすんでいる、からだがふっさふさでちょっとクマみたいな“もじゃりん”。かえでちゃんが新しい学校に転校することになって、ため息をつきながらノートにらくがきで書いたのが“もじゃりん”です。かえでちゃんは学校での出来事を、もじゃりに話しかけますが、もじゃりんの声はかえでちゃんには届かないみたいで…。

かわいいイラストと優しく見守るもじゃりに、ほっこりする物語です。

by オレンジ



◇「モンスター・ホテルでうたいましょう」◇

児童書 913カC 柏葉 幸子／作 高島 純／絵 小峰書店

町はずれにあるモンスター・ホテル。そこには、人間の町にあそびにくるモンスターたちで、いつもまんいんです。

ある日、透明人間合唱団がやってきましたが、何か変？。

そう、風邪を引いて声が出なくなってしまったのです。それも明日コンクールだというのに！さあ大変！急ぎょホテルで働く透明人間のトオルさん、客のドラキュラ男爵、キツネのツネミさんの三人で、すぐにきくというシロップを求め、魔女のラシドを探すことに。

どんな珍道中になるのか？ それより、透明人間合唱団がどんなハーモニーを奏でるのか？ちょっと気になります。

by 日曜日



◇「パフィン島の灯台守」◇

児童書 933モ マイケル・モーパーゴ／作 ベンジー・テイヴィス／絵 佐藤 見果夢／訳 評論社

ある大嵐の夜、ぼくが乗ったペリカン号が沈没し、30人が遭難しました。なんとか泳いで、岩にしがみついて助けを待っていた時、一部始終を見ていたパフィン島の灯台守のベンジャミン・ボスルスウェイトが、ボートをこいで助けに来てくれたのです。そして、灯台に招き入れて、あたたかい紅茶とビスケットをごちそうしてくれました。灯台を去るとき、ベンジャミン・ボスルスウェイトは、自分の書いた絵をぼくにくれました。それから、何年もたって…。

by ビクトリア



◇「アナートルとねこ」◇

児童書 Eアナ イフ・タイタス／作 ポール・ガルドン／絵 石津ちひろ／訳 好学社

アナートルは、チーズ工場で味見係として働いています。でもアナートルは人間ではなく、ねずみだったのです。これは社長のデュバルさんも知りません。何故って、工場に誰もいなくなってから働いているからです。今日も助手のガストンと仕事をしていると、事件がおきました。何がおきたのか、アナートルとガストンは大丈夫なのか、ドキドキなお話です。

by チッピー



「おはなし会」のお知らせ

🌟 図書館おはなし会 🌟

5月10日(水)・17日(水)

午前10時～10時30分

🌟 エプロンひろ子さんのエプロンシアター 🌟

5月13日(土) 午前10時30分～11時

🌟 しゃぼん玉の英語おはなし会 🌟

5月20日(土) 午前11時～11時30分

🌟 クーミンの英語のおはなし会 🌟

5月21日(日) 午前11時～11時30分

🌟 ぽっぽのおはなし会 🌟

5月24日(水) 午前10時～11時



イベント開催のお知らせ

親子体験教室「世界のボードゲームで遊ぼう!!」

期 日：令和5年6月4日(日)

時 間：午前の部 10時～12時

午後の部 1時30分～3時30分

定 員：各部10組(24名程度)

対 象：親子で参加できる方(小学1年生～6年生)

申し込み方法：カウンター又は電話等事前申し込み(先着順)

「図書館バードウォッチング」

5月7日(日) 午前10時～11時30分

* 図書館前ウォーキングロードで行います。

(雨天の場合は中止となります。)

* お申込みは不要です。当日、図書館にお越しください。

5月企画展示紹介

1階企画展示

アドベンチャー



2階企画展示

さあ、出かけよう!

